

阿南高校と地域の発展を考えるシンポジウム

令和7年8月21日

地域を育てる学力と関係人口

鳥取大学地域学部地域創造コース

教授 筒井一伸

1

自己紹介

■略歴 佐賀⇒東京⇒島根⇒大阪⇒愛知⇒鳥取

■最近の研究テーマ

- ①都市-農山村交流・地域おこし協力隊の支援手法の開発
- ②移住・田園回帰の実態に基づく政策支援
- ③「学校」を仕掛けにした地域づくり戦略の検討
- ④ベトナム農村の地域づくりモデルの開発

■主な社会活動

総務省 過疎問題懇談会 委員

鳥取県 中山間地域等活性化・移住定住促進協議会
会長

■専門：農村地理学・地域経済論

2

自己紹介

■略歴 佐賀⇒東京⇒島根⇒大阪⇒愛知⇒鳥取
愛知県北設楽郡豊根村 地域間交流支援専門研究員



(1) こう位置付けられる
○住宅ではないです
この本で語られるブルーベリーの物語をもとに、豊根村では平成13～15年度に「短期滞在施設（おためし施設）」に取り組みます。この事業のポイントは、交流を目的とした施設であり、住宅ではないという点です。ですから、青空の家のように住み続けることがありません。

■専門：農村地理学・
地域経済論

3

自己紹介

★『田園回帰がひらく新しい都市農山村関係—現場から理論まで—』筒井一伸編（ナカニシヤ出版、2021年）

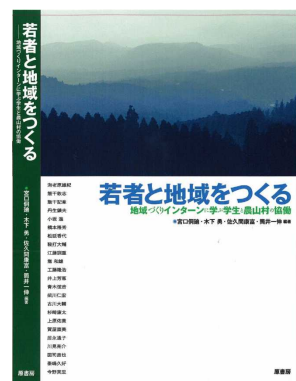


若者を地域の仲間に！
秘訣をつかむハンドブック



★『若者を地域の仲間に！—秘訣をつかむハンドブック—』筒井一伸・小林悠歩編著（筑波書房、2021年）

★宮口侗迪・木下勇・佐久間康富・筒井一伸編著
『若者と地域をつくる』（原書房、2010年8月）



4

4

自己紹介

『学びが地域を創る—
—ふつうの普通科高校の
地域協働物語』

編著者：山根俊喜・武田
信吾・今井典夫・藤井
正・筒井一伸
学事出版刊・2022年

ISBN：9784761928605
定価：2,200円（税込）



5

5

村岡高校での経験

2011年の1枚のFAXに始まる…。



学校設定科目「**地域探求**」
とはあるが…、**絶句！**

※兵庫県教委特別非常勤講師（地域探求担当→総合的な探究の時間）に始まり，文科省事業「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力型）」カリキュラム開発専門家およびコンソーシアム連携協議会委員など，
気が付けば**村岡高歴15年目**…。

2011年度講師依頼年間計画

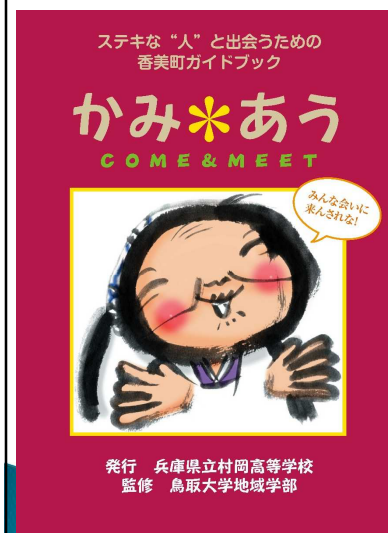
【資料1】

		インスバリア事業	教科「地域探求」	地域連携活性化協議会
4月	上旬			
	中旬			
	下旬		授業（講師）	会議（助言者）19:00～
5月	上旬			
	中旬			
	下旬			
6月	上旬			
	中旬			
	下旬			
7月	上旬			
	中旬	7/18教育講演会（講師）		
	下旬			
8月	上旬			
	中旬			
	下旬		中間まとめ（助言者）	会議（助言者）19:00～
9月	上旬			
	中旬			
	下旬			
10月	上旬			
	中旬			
	下旬		生徒発表（助言者）	
11月	上旬			
	中旬	村岡フォーラム（助言者）		
	下旬	10/下旬で検討中		
12月	上旬			
	中旬			
	下旬			
1月	上旬			
	中旬			
	下旬		中間まとめ（助言者）	会議（助言者）19:00～
2月	上旬			
	中旬			
	下旬			
3月	上旬			
	中旬			
	下旬		生徒発表（助言者）	
依頼予定講師		後援校長先生	鳥取大地域政策の先生	兵庫教育大学の先生

※学校全体の年間行事予定表がまだ出ていませんので、日程は仮定的です。

6

村岡高校での経験



学校設定科目「地域探求」とはあるが…、**絶句！**



★**丸投げしない先生たちと…**

①**地域を味方**にしよう！

⇒地域から見向きもされない学校には未来はない！！

②**オトナ**を知らない高校生

⇒学校と家庭の往復が日常

=出会う**オトナ**は教師と家族

⇒**カッコいいオトナ**と出会おう！

7

村岡高校での経験

香美町を塗り替える
熱い心の
商工会青年部長 —
松岡 大悟
Daigo Matsuoka

地元で塗料店を営みながら香美町商工会青年部の部長を務める松岡大悟（まつおか だいてい）さん。

町のヒーロー「香美総選挙オレンジャー（GEO）」や小さな缶詰を食べやすい「子レキススティック（通称S-K-S）」を手がけ、若者の中心となって、町おこしを行っています。また松岡さん自身のフェイスブックなどで情報を発信し、少しでも多くの人に香美町について知ってもらおうとしています。「今、私たちがしていることは決して画策自分たちの儲かることではないけれど、広めていくことで、いつか地域の活性化に役に立っていくと信じています。」と松岡さんは語ります。

さらに松岡さんは地域の人に地域のことを好きになってもらえるような地域づくりに取り組んでいます。「自分は地元のことを好きだから地域づくりの活動ができる。だからこの香美町のことを自分のように好きだと多くの人に言ってもらえるようにしたい。」と松岡さんは熱く語ります。

松岡さんの熱い思いは地域の人々を動かし、今ではたくさんの方が松岡さんと一緒に活動しています。あなたも松岡さんの思いのこめった「香美総選挙オレンジャー（GEO）」や「S-K-S」づくりを体験してみませんか？

香美町を塗り替える熱い心の商工会青年部長 松岡 大悟

香美町商工会青年部 兵庫県美方郡香美町香住区香住107 0796-36-0123

8

村岡高校での経験



★先生たちと考えたこと

- ①地域を味方にしよう！
⇒地域から見向きもされない学校には未来はない！！
⇒地域の人たちに広く開く
- ②隣の集落を知らない高校生
⇒学校と家庭の往復が日常
＝学校とイイがある集落以外は…
⇒集落を知る&アピールする！

村岡高校での経験



ながす
長須
みんなの笑顔が
集まるどころ

公民館を使っている行事がたくさんある。例えば、地域の男性が料理を作って女性に振舞う「男の料理教室」。村カフェ。昔、長須に住んでいた方々も集めて公民館でのお泊り会など。区民の方が集まるイベントがたくさんある。長須の方に「この地区に一番楽しい時とはどんな時ですか。」と聞くと皆さん「集まってる時が一番楽しい」と答えてくれた。この公民館は区民の方たちの憩いの場になっているのだ。



イイ感じを言葉に
What will you do in Kami?

射添和紙の紙漉き事業
Iso Japanese Paper Making Project

一度は途絶えてしまったものの、長須区民の思いから復活したこの活動。紙漉きに使う道具を手作りしたり、原料であるトロアオイを長須でつくりたりと愛がこめばいい！

Making Iso Japanese paper had broken away once, but it was restored by Nagasu inhabitants' desire. By making tools, growing abelmoschus manhot, and turning it into the material by themselves, we feel their love for Iso Japanese paper strongly.

日本固有の和紙を実際に自分で作成することから、外国人観光客が日本をより深く感じることができる!!

You can try making Japanese traditional handmade paper. I hope you'll feel Japanese culture deeply.

人	口	66人
世帯数	21世帯	
高齢化率	37.9%	
主な行事	一村一特作り、ひまわり作り、村カフェ、男の料理教室、部会の子が引き継ぎし体験紙漉き、ふる里長須を語る会紙漉き	
歴史	紙漉き	

アカセ公園
 近隣の公園を歩道に囲んで
 通ると左手に橋がある。

「地域を育てる学力」と地元人材育成

地域社会で村岡高校が目指すポジションは・・・

村岡高等学校は、

協働のまちづくりの拠点
地域の未来を創造する人づくりの拠点

地域を育てる学力

「みじめな村をさえも見捨てず、愛し、育て得るような、主体性をもった学力」

（東井義雄(1957)『村を育てる学力』明治図書）

地域を捨てる学力

□競争型教育
□受験のための知識獲得
□地域の若者を都市へ送り出す装置としての学校

11

誰のための取り組みか—意味づけ—

ポイント1：地域の“カッコいい”大人と出会う

▼生徒のために！コミュニティのために！

ポイント2：地域を育てる学力

▼高校のために！教師のために！コミュニティのために！

ポイント3：関係人口をヒントに！

▼卒業生のために！コミュニティのために！行政のために！

12

これまでの取り組みを振り返って
—さらにお伝えしたいこと—

(1) 狙う受験生＝マーケットの把握

★人口減少＝**受験者総数減少は止まらない**。ただ学校が特色化すると、より**明確なターゲットの設定が可能**になる。地域内も地域外も、その高校に目が向いていない人に目を向けてもらう取り組みが大切。

(2) 提供するものの適切化

★**地域内、地域外の両方へ対応**した制度とカリキュラムづくりが大切。

13

これまでの取り組みを振り返って
—さらにお伝えしたいこと—

◇村岡高校では普通科地域アウトドアスポーツ類型を**地域創造系**とアウトドアスポーツ系に分けて設置



地域創造系…ポイントは「**地域≠地元**」。普遍的な**地域課題への論理的思考**＝大学教員による担保



◎「地域」を学ぶ地域創造系で大学進学へつなげる＝学区内の他校流出受験生の獲得＝国公立大進学率は旧南但学区トップ校と遜色ない

14

これまでの取り組みを振り返って
—さらにお伝えしたいこと—

◇村岡高校では普通科地域アウトドアスポーツ類型を
地域創造系とアウトドアスポーツ系に分けて設置



アウトドアスポーツ系…ポイントは地域資源活用。但
馬地方は西日本随一のスキー競技が盛んな地域なので
アウトドアスポーツ自体も地元の地域資源



◎県外出身生徒はほぼ全員がアウトドアスポーツ系で
特に京阪神のスキー人口がターゲット

15

これまでの取り組みを振り返って
—さらにお伝えしたいこと—

(3) 農山漁村であることのプライオリティ

★農山漁村はコミュニティが比較的強固＝コミュニケーションが豊穡。

※コミュニケーションcommunicationもコミュニティcommunityも語源
は同一でラテン語のcommunis（共同の、共有の）。



◇香美町は郡をまたいで合併したので、1町内に2つ
の県立高校（かつ旧学区は2つ）。しかし旧他郡の町
民＝村高卒業生以外もかかわる素地がある。

16

これまでの取り組みを振り返って
—さらにお伝えしたいこと—

(4) 公立高校という特性

★施設としての学校は地域に固定だが、重要な人材である先生は異動が、生徒は卒業があり流動性がある。地域に固定化した主体との協働が大切。コミュニティ、企業など。

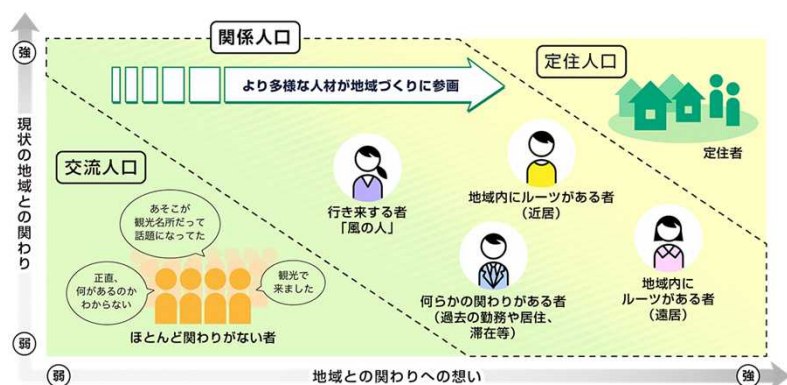


◇初期に村高の取り組みに関わった方々から広がり、高校の取り組みへの協力、寄付、県外生向け下宿経営などが展開。

17

関係人口と地域を育てる学力

★関係人口 = 観光以上定住未満→関与するヨソモノ

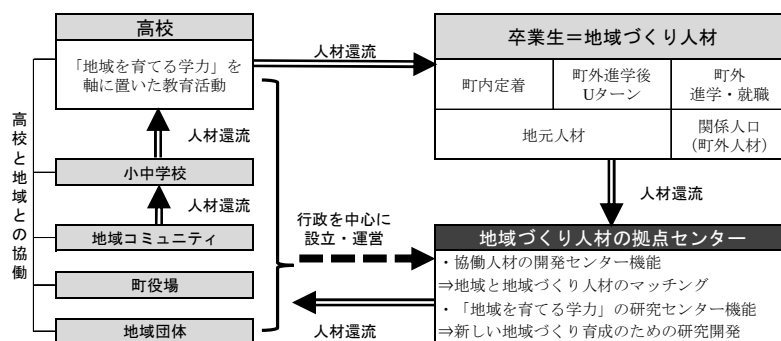


総務省「関係人口ポータルサイト」より引用

18

関係人口と地域を育てる学力

「地域を育てる学力」と地域づくり人材の還流



【配布資料】月刊地方議会人2023年11月号

19

ご清聴ありがとうございました！
tsutsui@tottori-u.ac.jp



20